

H23 前

以下の

せしめたいのでうかしくええ

No.

()

レポート 1 解答例

1-1

$x_1, x_2, x_3, y_1, y_2, y_3 \in \mathbb{C}$ とし,

$$x = \begin{pmatrix} x_1 \\ x_2 \\ x_3 \end{pmatrix} \in \Pi, \quad y = \begin{pmatrix} y_1 \\ y_2 \\ y_3 \end{pmatrix} \in \Pi \quad \text{と} \text{す}.$$

(i) 加法

$$x + y = \begin{pmatrix} x_1 + y_1 \\ x_2 + y_2 \\ x_3 + y_3 \end{pmatrix} \quad \text{とし},$$

$$\begin{aligned} & C_1(x_1 + y_1) + C_2(x_2 + y_2) + C_3(x_3 + y_3) \\ &= (C_1x_1 + C_2x_2 + C_3x_3) + (C_1y_1 + C_2y_2 + C_3y_3) = 0 \end{aligned}$$

0 0 (定義)

よって $x + y \in \Pi$

(ii) スカラー倍

$\alpha \in \mathbb{C}$ とし,

$$\alpha x = \begin{pmatrix} \alpha x_1 \\ \alpha x_2 \\ \alpha x_3 \end{pmatrix} \quad \text{とし}.$$

$$\begin{aligned} & C_1\alpha x_1 + C_2\alpha x_2 + C_3\alpha x_3 \\ &= \alpha(C_1x_1 + C_2x_2 + C_3x_3) = 0 \quad (\text{定義}) \end{aligned}$$

よって $\alpha x \in \Pi$

(i), (ii) より Π は V の部分ベクトル空間

1-2

$$z = x + y \in \Pi_1 + \Pi_2 \quad (x \in \Pi_1, y \in \Pi_2)$$

$$z' = x' + y' \in \Pi_1 + \Pi_2 \quad (x' \in \Pi_1, y' \in \Pi_2)$$

とす。

(i) 加法

$$\begin{aligned} z + z' &= (x + y) + (x' + y') \\ &= (x + x') + (y + y') \end{aligned}$$

よって $x + x' \in \Pi_1, y + y' \in \Pi_2$
($\because \Pi_1, \Pi_2$ は部分ベクトル空間)

よって $z + z' \in \Pi_1 + \Pi_2$

1-2 続

(ii) スカラー倍

$\alpha \in \mathbb{K}$ とし,

$$\alpha z = \alpha(x + y) = \alpha x + \alpha y$$

よって $\alpha x \in \Pi_1, \alpha y \in \Pi_2$

($\because \Pi_1, \Pi_2$ は部分ベクトル空間)

(i), (ii) より $\Pi_1 + \Pi_2$ も V の部分ベクトル空間

1-3

$$\dim(\Pi_1 \cap \Pi_2) = d \quad \text{とし}$$

$\{u_1, \dots, u_d\}$ は $\Pi_1 \cap \Pi_2$ の基底とす。

このとき $\dim \Pi_1 = n, \dim \Pi_2 = m$ とし,

$\{u_1, \dots, u_d, u_{d+1}, \dots, u_n\}$ は Π_1 の基底

$\{u_1, \dots, u_d, u_{d+1}, \dots, u_m\}$ は Π_2 の基底

とす。と仮定する。

よって $\{u_1, \dots, u_d, u_{d+1}, \dots, u_n, u_{d+1}, \dots, u_m\}$ は $\Pi_1 + \Pi_2$ の基底であることが示す。

$x \in \Pi_1, y \in \Pi_2$ と

$$x = a_1u_1 + \dots + a_du_d + a_{d+1}u_{d+1} + \dots + a_nu_n$$

$$y = b_1u_1 + \dots + b_du_d + b_{d+1}u_{d+1} + \dots + b_mu_m$$

$$(a_1, \dots, a_n, b_1, \dots, b_m \in \mathbb{K})$$

とすると $x + y \in \Pi_1 + \Pi_2$ は

$$\begin{aligned} x + y &= c_1u_1 + \dots + c_du_d + a_{d+1}u_{d+1} + \dots + a_nu_n \\ &\quad + b_{d+1}u_{d+1} + \dots + b_mu_m \end{aligned}$$

$$(c_i + b_i = c_i \quad (i=1, \dots, d) \text{ とおくと})$$

$x + y = 0$ とすると,

$$\begin{aligned} & c_1u_1 + \dots + c_du_d + a_{d+1}u_{d+1} + \dots + a_nu_n \\ &= -(b_{d+1}u_{d+1} + \dots + b_mu_m) \end{aligned}$$

... ①

せむけい72、いけうp111<22

レポート 1 解答例

1-3 | 続き

①の左辺は Π_1 の元を表し、

右辺は Π_2 の元を表している。

この等号で結ばれているから、左辺と右辺は互いに $\Pi_1 \cap \Pi_2$ の元である。

よって、

$$c_1 u_1 + \dots + c_d u_d + a_{d+1} w_{d+1} + \dots + a_n w_n \\ = c_1 u_1 + \dots + c_d u_d$$

と振りかえる。すると、①は

$$c_1 u_1 + \dots + c_d u_d + b_{d+1} w_{d+1} + \dots + b_m w_m = 0$$

$\{u_1, \dots, u_d, w_{d+1}, \dots, w_m\}$ は一次独立であるからこのとき

$$c_1 = \dots = c_d = b_{d+1} = \dots = b_m = 0$$

よって、①は次のようになる。

$$c_1 u_1 + \dots + c_d u_d + a_{d+1} w_{d+1} + \dots + a_n w_n = 0$$

$\{u_1, \dots, u_d, w_{d+1}, \dots, w_n\}$ は一次独立であるから、このとき

$$c_1 = \dots = c_d = a_{d+1} = \dots = a_n$$

以上から、 $x + y = 0$ となる

$$c_1 = \dots = c_d = a_{d+1} = \dots = a_n = b_{d+1} = \dots = b_m = 0$$

である。ゆえに $\{u_1, \dots, u_d, w_{d+1}, \dots, w_n\}$ は一次独立。

また、 $x + y$ は $\Pi_1 + \Pi_2$ の任意の元をあらわしている。

零元を
よめ

よって、 $\{u_1, \dots, u_d, w_{d+1}, \dots, w_n\}$

は $\Pi_1 + \Pi_2$ の基底である。

よって、

$$\dim(\Pi_1 + \Pi_2) = d + (n-d) + (m-d) \\ = n + m - d = \dim \Pi_1 + \dim \Pi_2 - \dim(\Pi_1 \cap \Pi_2)$$

$\dim \bigcirc = (\text{基底の数})$

定義